

「京都マニュアル子牛」認定制度で子牛の発育が良好に

碓高原牧場は、全国農業協同組合連合会京都府本部の依頼により、乾牧草を多く給与して牛肉生産に適した腹容の大きい子牛を育成するために、飼料給与や管理方法を定めた「和牛子牛飼養管理マニュアル」の作成を監修しました。

全農京都は、このマニュアルに基づいて育成した子牛が一定の基準を満たした場合に「京都マニュアル子牛」として認定しています。

子牛の市場での価値を高め、出荷農家及び肥育農家の収益増加を図ることを目的に制定された本認定制度によって、子牛の発育は良好となり、「京都マニュアル子牛」は、平成 23 年 11 月市に初認定されて以降、順調に増えています。

本制度は、今後の和牛振興に大いに寄与することが期待されています。



せり市会場で体型を測定し
認定牛を決定



認定牛のせり値は市場平均より約5万円高い

畜産センター
碓高原牧場